市民課で用が足る
ご相談は市民相談係で
窓口事務を一本化

市役所内の機構を改正しようとする課設置条例が、三月の定例市議会で審議されたことは前月の広報でその概略の内容とともにお知らせしましたが、この条例が三月三十日の本会議で原案どおり決まりましたので、ここで、市民の方々に直接関係のあることをお知らせいたします。

新たに市民課を設けて窓口事務を統一した

今まで、市民の方々が市役所に用事にこられたとき、関係のあるいろいろな課を回って用を足して貰っていましたが、この不便をなくするためにできた課で、市民課では次の事務を取扱うことにしました。

A 戸籍関係
B 住民登録関係
C 印鑑証明
D 外人登録
E 主食配給関係（移動証明など）
F 国保の被保険者証の交付
G 日雇健康保険の事務
H 助産費と葬祭費の支給
I 療養費の請求
J 妊娠届の受付と母子手帳の交付
K 患者輸送車の使用
L 火葬場の使用
M 霊柩車の使用
N 犬の登録、狂犬
O 公会堂の使用
P 自動車の臨時運行
Q 主食小売業者の登録
R 米飯提供業者の登録

このように、大部分の窓口事務を一か所に集めましたので、今後は市民課にきていただけば、たいていの用事は足りることと思います。

ただ、過渡期でありますので、扶養証明などのように、住民税台帳を調べなければならないというようなものは関係の課で証明することにしてあります。

市民相談所を設けた

市民課の中に、市民相談所を設けて、いろいろなご相談に応ずることにしました。

市民相談所は、庁内の案内、陳情、相談、苦情などをきかせていただく目的で新しく設けたもので、ここに相談係を配置しておきますし、この係で判らないような専門のことは、各課の担任者を相談所まで出向かせてご相談にあづかることにしています。

以上が市民の方々に直接関係のある機構改革の内容ですが、事務の内部機構は、前月号でお知らせしましたとおり、思いきった統廃合をして、能率の増進をはかることにしています。

この機構改革は、四月下旬から一斉に実施することにしていますが若干の期間、職員のふなれや連絡のまづいことなどがあって、市民の方にご迷惑をかけることもあると思います。しかし、けっして永い期間ご不便をかけることはないと思いますので、ご協力をお願い申上げます。

若手を登用
清新の気を期待
機構改革に伴う人事

市役所の事務機構を改めて窓口事務の改善や事務能率を向上させる目的で「課設置条例」が議会できまったことは別項のとおりですが、この条例の公布期限（議決後二十日）である四月十九日にこの条例を公布し、次のとおり第一次の人事を発令しました。

○市長公室　室長　畑野栄作
○庶務課　課長　沢田芳雄　同補佐　奥村一男
○財政課　課長　夏井清次　同補佐　宮腰俊夫
○税務課　課長　三間勘次
○市民課　課長　荒木末次　同補佐　杵榎貞夫
○保健衛生課　課長　平田義清　同補佐　松本祭一
○民生課　課長　阿部六衛　同補佐　江部義次
○農林課　課長　樽岡憲夫　同補佐　昆　広
○商工観光課
同補佐　岩城千代市
○建設課　課長　船木国治　同補佐　塩谷義人
○出納室　室長　土田健一
○社会福祉事務所　所長　植村萬平　同補佐　柴田成三
○新関出張所　所長　小田勇吉

以上のほか、名称、人事とも変更のないものは…

○水道課　課長　野中丙午郎　同補佐　高橋　正
○金津出張所　所長　目黒正義
○小合出張所　所長　川瀬富明

なお、今回の発令は、課長と課長補佐クラスだけ発令したもので、各課に所属する人員数と人事発令は近日中に行う予定です。

また、もと新関出張所長であった佐藤岩雄は、その職を解き、市長公室付としました。

この度の人事発令は、思いきって若手の登用をはかり、市役所に清新の気をみなぎらせることにしましたが、市民各位のご理解と、今後のご協力…

日に36klを処理
し尿消化槽を建設

本年度から二年計画でし尿消化そうを建設するつもりです。

建設予定地は火葬場の隣りで、すでに買収を終っています。

第一年度の工事費は、二千六百二十万円の予定です。

この工事は、国から補助金も出ることになっており、また、借入金も必要ですので、目下厚生省の許可を申請中のものですが、大体許可になる見とおしです。

現在市街地から排出されるし尿（ふん尿）は、一日三十キロリットルと推定されており、業者の汲取りで処理している現状ですが、雪が降ったりするとどうにもならず近くの川などに捨てられているという非難の声もあり、ここ数年来、農家の畑作地帯に貯溜そうを作ってきましたが、これも限界に来たようですので、このような消化そうを作ることになったものです。

新しく建設されるし尿消化そうの一日の処理能力は三十六キロリットルと予定していますので、これが完成すれば、きれいな街を築きあげる上に大へん役立つものと思って力を入れています。

ごみ収集車を購入

最近ますますごみがふえて、これを集めるのに苦労していますので、もう一台ごみ収集車を購入することにしました。

現在、市役所でごみを集めて回っている区域（市街地とその周辺）の世帯は約六千軒で、一日に出るごみの量は十三トン以上になります。

これをトラック三台、専用車一台、手びき車一台で集めているのですが、夏になると、散水の方にトラックを二台まわさなければならないことになっており、ごみのよけいに出る夏にかえって能力がおちてくることになり…市民のみなさんのご要望にこたえることにしたものです。

建設ずみ、三二七戸
公営住宅を建設

公営住宅の建設は毎年順調に進み、現在では、ブロック住宅七二世帯、一種木造住宅一〇〇世帯、二種木造住宅六六世帯、庶民住宅　八世帯　計二四六世帯分が建設されており、この外に県営住宅二六世帯、分譲住宅五五…てきたことになります。

三十七年度では、更に市民の住宅難緩和をはかって、住みよい町を建設するために、三十六年度（三十六年度は三一世帯分であった）よりよけいに建設したい意向で県と接衝中です。

水の出がよくなる

十二月の広報にお知らせしましたように、夏季の水道の水不足を解消するため、三か年計画で拡張工事を進めておりますが、第一期工事は総工費一千九百万円余で馬場工務所が請負い、五月中旬に完成の予定です。

第一期工事は、浄水能力（阿賀野川から水をあげてろ過する能力）と送水能力（秋葉山の配水場まで水をおしあげる能力）の差を縮めるために中新田から西金沢までの間の送水本管を内径三五〇粍のものを二二〇〇米布設しようとするもので、この工事が完成すると昨年の夏のような水不足はずっと少なくなるものと予定しています。

このほか三十七年度では、浄水場の施設を一新改良したり、配水管を布設したりする経費をみこんでいます。

甲子園もゆめみて
中学専用の球場も
―公式野球場の構想―

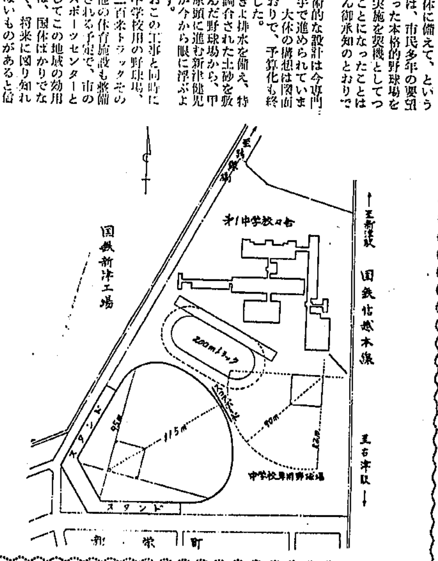
国体シリーズ⑥

国体に備えて、というよりは、市民多年の要望であった本格的野球場を国体実施を契機としてつくることになったことは皆さん御承知のとおりです。

技術的な設計は今専門家の手で進められていますが、大体の構想は図面のとおりで、予算化も終りました。

暗きょ排水を備え、特別に調合された土砂を敷き込んだ野球場から、甲子園原頭に進む新津健児の姿が今から眼に浮ぶようです。

なおこの工事と同時に中学校用の野球場、二百米トラックその他の体育施設も整備される予定で、市のスポーツセンターとしてこの地域の効用は、国体ばかりでなく、将来に図り知れないものがあると信じます。



6年で2倍
―工業調査でわかる―

昨年十二月三十一日現在で行った工業統計の集計を終りましたので、結果をお知らせします。これによって市内の工業生産品の出荷額をみますと表のとおりで昭和三十年から三十六年までの間に大体二倍の十五億円余にふえ、製造工業は順調に発展してきたことがうかがわれます。

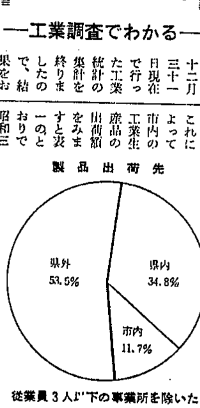
また、市内で生産された製品の出荷先をみますと図表のとおりで、県内県外ほぼ同じ率になります。なお、県内のうち、市内で消費されるものは全体の十一％余りです。

（註）この工業統計からは小売を主とする製造業や国鉄関係など…

年次別・出荷額など

年度	事業所数	従業者数（人）	出荷額（千円）
30年	156	1,511	74,200
31〃	143	1,533	89,357
32〃	158	1,658	96,917
33〃	151	1,663	93,522
34〃	136	1,676	107,522
35〃	158	1,877	139,857
36〃	166	2,028	156,895

製品出荷先



従業員3人以下の事業所を除いた